

各位



2024年6月21日

会社名：スターティアホールディングス株式会社
代表者名：代表取締役社長 兼 最高経営責任者 本郷 秀之
(コード番号 3393 東証プライム)
問合せ先：取締役 植松崇夫
(TEL：03-5339-2109)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月20日にプライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画書を提出し、2023年6月22日には上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について継続開示しております。

この度、2024年3月31日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 上場維持基準の適合状況および計画期間

(1) プライム市場適合状況

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式時価総額 (円)	流通株式比率 (%)
プライム市場 上場維持基準	800	20,000	10,000,000,000	35.0
2021年6月30日時点 ※1	2,564	53,684	7,079,084,648	52.4
2023年3月31日時点 ※1	3,385	51,843	6,052,742,635	50.6
2024年3月31日時点 ※1	3,650	63,909	9,506,689,964	62.4
適合状況	適合	適合	不適合	適合

※1. 東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものであります。

(2) 計画期間

2025年3月期末日までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

プライム市場上場維持基準の適合に向けた「流通株式時価総額」の向上に向けた具体的な取組内容については、添付の「プライム市場上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」に記載のとおりです。

以上

プライム市場上場維持基準の適合に向けた 計画に基づく進捗状況について

2024年6月21日
スターティアホールディングス株式会社
(東証プライム 3393)

- 上場維持基準の適合状況および計画期間
- 上場維持基準の適合にむけた取り組みの基本方針
- 株価の向上に向けた施策
- まとめ
(これまでの取り組みの評価・今後の課題と取り組み)

上場維持基準の適応の状況および計画期間

【上場維持基準の適合状況】

基準	プライム市場 上場維持基準	2021年6月30日時点 ※1	2023年3月31日時点 ※1	2024年3月31日時点 ※1	適合状況
株主数（人）	800	2,564	3,385	3,650	○
流通株式数（単位）	20,000	53,684	51,843	63,909	○
流通株式時価総額（円）	10,000,000,000	7,079,084,648	6,052,742,635	9,506,689,964	×
流通株式比率（%）	35.0	52.4	50.6	62.4	○

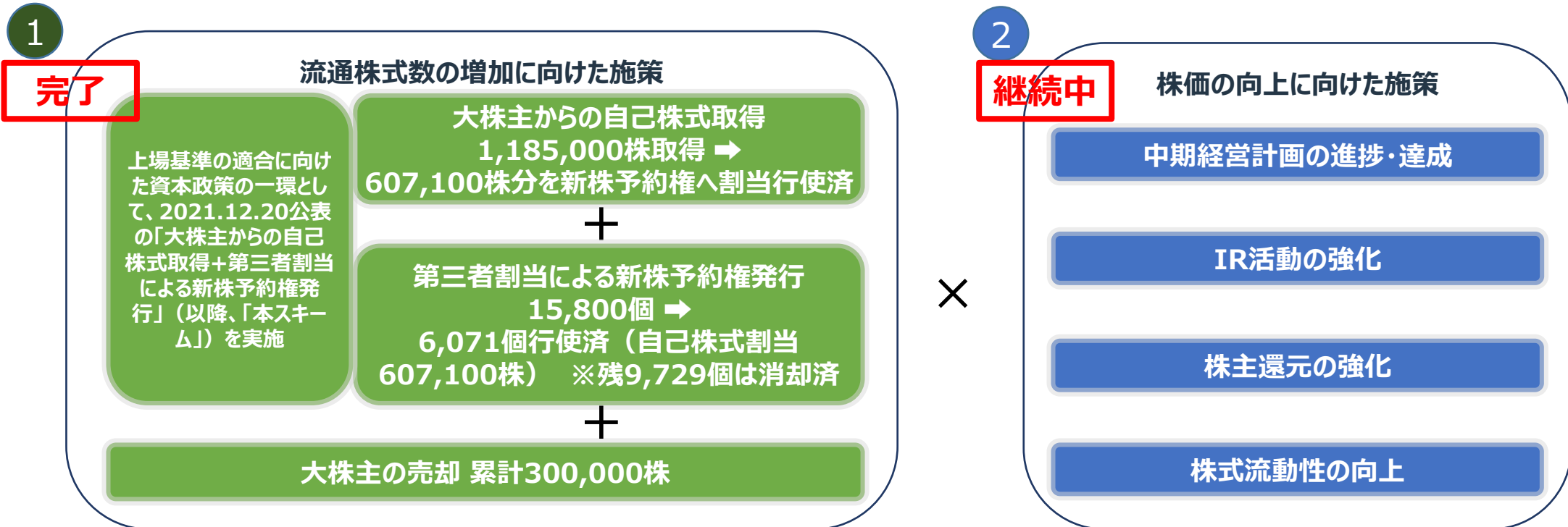
※1.東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものであります。

【計画期間】

中期経営計画（2020年4月～2025年3月）の最終年度である2025年3月期末日までに上場維持基準の適合に向けた取り組みを進める。

上場基準の適合に向けた資本政策の基本方針

資本政策およびIR活動の強化により、流通株式数の増加、株価の上昇を促し、流通株式時価総額の達成を目指す



上場維持基準適合状況に関する
2024年3月31日時点の結果

流通時価総額 約95億円 = ① 流通株式数 6,390,978株^{※1} × ② 株価 1,487.51円^{※2}

② 株価の向上に向けた施策を継続して実施

2025年3月期末時点
目標

流通株式時価総額 100億円以上 = ① 流通株式数 増加 × ② 株価 向上

※1： 2024年3月31日時点
 ※2： 2024年1月1日から同年3月31日までの東京証券取引所における日々の最終価格の平均値（小数点第三位以下、省略）

株価の向上に向けた施策（業績の向上）

継続中

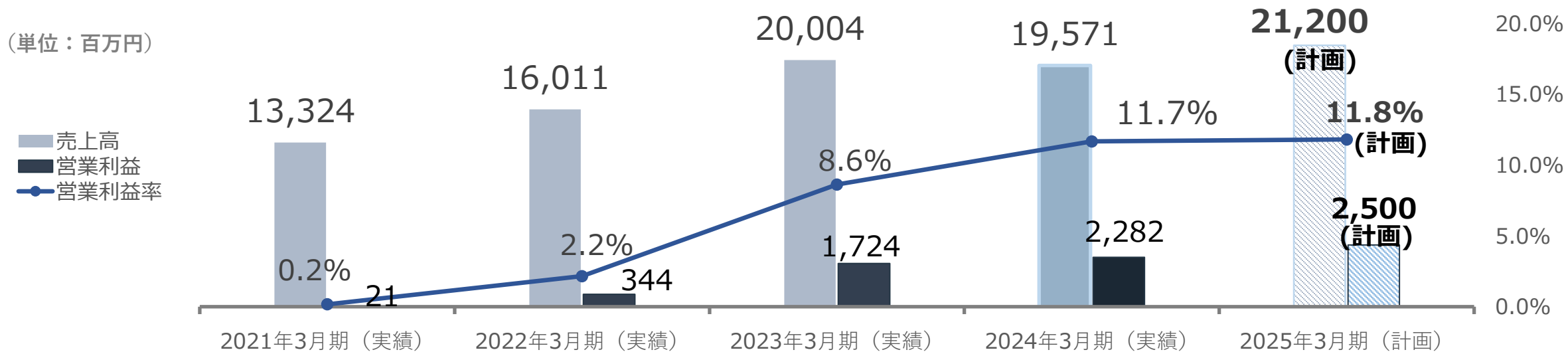
中計の進捗・達成

➤ 中期経営計画NEXT'S2025の着実な進捗・達成

グループ連結業績推移・計画

- ・2024年3月期でデジタルマーケティング事業のセグメント利益黒字化達成、連結の各段階利益で過去最高を更新！
- ・中期経営計画最終年度の2025年3月期も連結営業利益25億円を達成し、更なる利益拡大へ進める。

※中期経営計画「NEXT'S 2025」の詳細につきましては、2023年5月23日公表の「（訂正）『（修正）中期経営計画「NEXT'S 2025」の修正に関するお知らせ』の一部訂正について」をご参照ください。



売上高	13,324	16,011	20,004	19,571	21,200
営業利益	21	344	1,724	2,282	2,500
営業利益率	0.2%	2.2%	8.6%	11.7%	11.8%
EBITDA	238	662	2,258	2,712	—

継続中

IR活動の強化

- 投資家面談の機会増加
- SNSを含めた様々な積極的開示

引き続きIR活動の強化を実施

- ・機関投資家との1on1ミーティングを精力的に実施、海外機関投資家へも積極的アプローチ
- ・個人投資家向け説明会を実施することで、認知度向上
- ・当社IR Webサイトの情報拡充（動画配信のIR Channel、アナリストレポート掲載等）
- ・IR、PRの積極的な開示、SNSやメール配信の実施により、WEBニュース・新聞・雑誌への記事掲載へも繋げる

投資家面談の機会	2021年4月 – 2022年3月 実績	2022年4月 – 2023年3月 実績	2023年4月 – 2024年3月 実績
国内・海外機関投資家ミーティング (1on1ミーティング、スモールミーティング、決算説明会) ※同じ方との四半期毎のミーティングは重複カウントしております。	106名	102名	101名
個人投資家向け説明会	3回 (累計参加者数503名)	4回 (累計参加者数1,558名) ※1か月間のオンデマンド配信含む	4回 (累計参加者数541名)

積極的開示	2021年4月 – 2022年3月 実績	2022年4月 – 2023年3月 実績	2023年4月 – 2024年3月 実績
IR・PR情報開示件数 ※別途、適宜SNS発信、メール配信実施	48件	73件	107件

株価の向上に向けた施策（株主還元強化/当初配当予想比較）

継続中

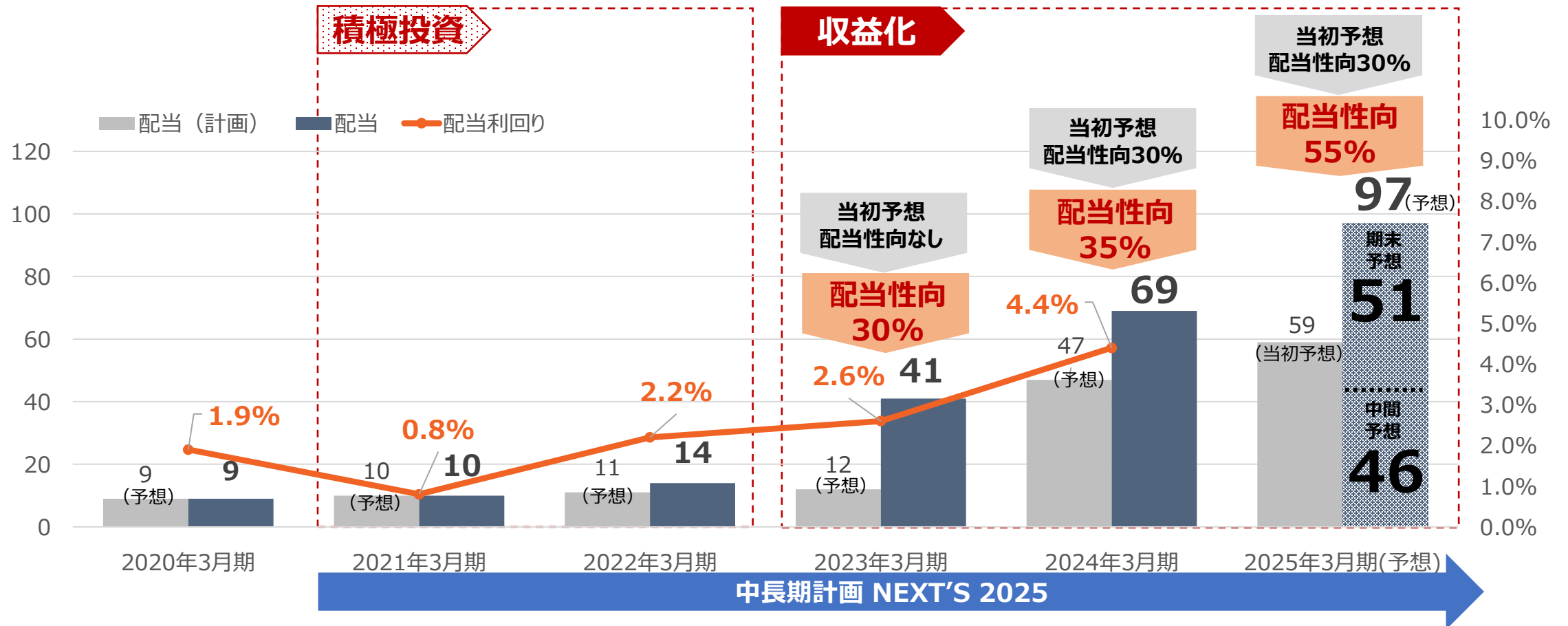
株主還元の強化

➤ 累進配当かつ、配当性向増加へ

2025年3月期より

「累進配当」を継続的に実施すると共に、連結ベースの「配当性向55%」を目途とした基本方針へ

※累進配当とは、原則として減配せず、配当維持もしくは増配を行う配当政策をいいます。



不適合状況：「流通時価総額」の未達

1. 2021年4月～2024年6月21日現在の取り組みの評価

① 流通株式数の増加に向けた施策

⇒ 2024年6月21日現在、本資料P3「流通株式数の増加に向けた施策」を行ったことで、流通株式数の増加（907,100株分）が叶っております。

② 株価の向上に向けた施策

⇒ 2024年6月21日現在、本資料P3-P6「株価の向上に向けた施策」を行ったことで、株価の向上（2024年6月17日現在の当社1株当たりの終値2,103円）ができております。

取組の評価（2024年6月21日現在）

上記①により、プライム維持の為に必要な流通株式数の増加ができたことで、プライム維持の為に必要な最終株価の平均値を引き下げることができ、2024年3月31日現在の流通株式数だった場合のプライム維持の為に必要な最終株価の平均値は「1,565円」となります。

また、上記②により、株価の向上を遂げることができており、2024年6月17日現在の当社1株当たりの終値は2,103円であることから、2025年3月期末日までにプライム市場の達成は可能と考えております。

2. 今後の課題と取り組み

課題：流通時価総額達成の為に株価維持・向上

取組：本資料P3-P6「株価の向上に向けた施策」の継続実施。